

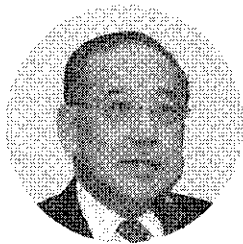
新会長に石井邦夫氏

今年度公益法人認定を申請

國中会長は名誉会長に

(社)全国産業廃棄物連合会

(社)全国産業廃棄物連合会は6月18日東京・港区の明治記念会館で第26回通常総会を開催、役員改選が行われ、石井邦夫副会長(社)千葉県産業廃棄物協会会長)が新会長に就任、國中賢吉前会長は名誉会長に就任した。石井新会長は「微力ながら



石井邦夫新会長



國中賢吉名誉会長

先駆けて低炭素で資源循環型社会の構築を目指したい」と述べた。

2010年度の事業は成立した改正廃棄物処理法への対応、地球温暖化防止等の地球環境保全対策の充実、公益法人制度改革への対応などに取り組む。法改正への対応については、許可の合理化をはじめ廃棄物処理施設の定期検査や維持管理情報の開示など、細目については今後出される政省令で明らかになる見込み。その動向を注視しながら必要な対応を図ることになる。仁井正夫

公益法人制度改革への対応については、すでに公益社団法人への移行を決めており、今年度中に認定申請を行うこととなった。全産廃連の事業は、会員でない処理業者や業界関係者の役に立つ事業とみられ、基本的な性格の変更や名称の変更などは行わない予定。引き続き、信頼と責任ある地位を保持する考えだ。

専務理事は議案説明の中で「処理業界として、09年度に引き続き、力を入れなければならない意見やその論拠を出していきたい」と述べた。

めの教育研修・人材育成事業▽産業廃棄物に係る地球環境保全対策を目的とした事業▽その他、公益目的を達成するために必要な事業。

平成22年6月28日

週刊循環掲載新聞